

滅菌ガーゼの製造工程（熊本工場）

最新技術と万全の管理体制で高品質と安心・安全・安定を保証します。

医療現場で使用される製品だからこそ、製品から包装に至るまで、ご施設の意見・ニーズに細かくお応えしています。また、滅菌ガーゼなどの滅菌製品の品質管理を徹底し、厳しい試験をクリアした製品のみが形となり、ご施設にお届けされていきます。滅菌管理体制は、ISO基準を中心に行い、地球環境にやさしい商品づくりを目指しています。

1 原料・資材入荷 >>>



ロット毎に原料資材の入荷を記録し、区分された倉庫に原料資材を保管しています。

2 原料・資材移動 >>>



原料資材を移動し、エアシャッターから搬入します。また運送時には付着した埃などを除く為エアシャワーを通じ作業室へ搬入します。

3 裁断加工・折加工 >>>



温湿度管理された領域で裁断加工、折加工を行います。裁断時に発生する埃は、吸引により室外に放出させます。

4 検品工程 >>>



CDDカメラにより異物や汚れのチェックをします。X線造影材入りガーゼについては重量選別器で枚数チェックを行います。また作業者の目視検品により小さな異物や汚れの除去も行っています。

5 半製品移動 >>>



裁断加工、折加工したガーゼを包装工程のクリーンルームに移動します。

6 包装工程 >>>



クリーンルームにおいて滅菌バッグにガーゼを充填します。ガーゼの形状、使用用途に合わせて最適な包装形態を選びます。

7 検品・梱包工程 >>>



目視により最終検品を行い、小箱・ダンボールに梱包します。

8 滅菌工程 >>>



包装工程から滅菌工程へ滅菌前の製品を移動します。滅菌室前で滅菌の順番を待ちます。

9 滅菌 >>>



厳しい滅菌工程管理を実施。滅菌システムを熟知したスタッフが滅菌を行い管理しています。

10 保管 >>>



滅菌後の製品にも配慮し、十分な換気能力、温度管理された滅菌倉庫にて保管しています。滅菌倉庫は、常にフィルターを通った空気を循環しています。

11 出荷 >>>

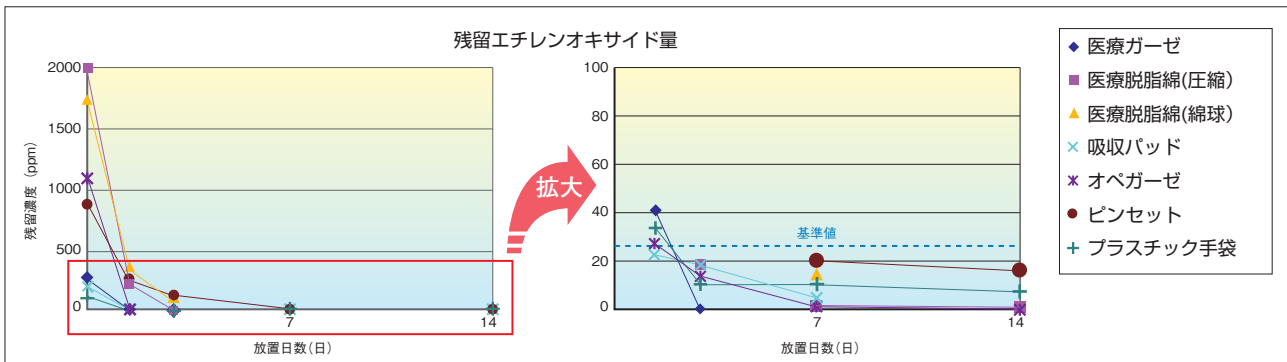


滅菌製品の搬出時はエアシャッターを通り、滅菌倉庫内への埃などの侵入を防ぎ、製品検査に適合した製品のみが、美原物流センターへ出荷されます。

EOG 滅菌の安全性について

EOG滅菌済のガーゼは本当に安全なの？

EOG滅菌は、低温滅菌法であり金属への腐食性がなく、材料への影響も少ないというメリットがありますが、素材への残留性を気にされているご施設もあるのではないのでしょうか。一般的に使われている高圧蒸気滅菌は安全性も高く環境への残留性も少ない優れた滅菌法ですが、ガーゼ・脱脂綿などのセルロース素材では若干酸化してしまい変色してしまふことがあります。当社の滅菌ガーゼはEOG滅菌を行っていますが、滅菌処理後は十分な換気能力と温度管理された滅菌倉庫で一定期間保管しており、残留濃度が基準値以下になっているのを確認した上で製品の出荷を行っていますので、安心してご使用して頂けます。



【当社熊本工場での試験結果】

※ガーゼ、脱脂綿など各素材材でのEOG滅菌後の残留ガス濃度測定結果です。滅菌物によって若干の差が出ていますが、保管期間の14日後では全ての滅菌物において残留濃度が基準値以下になっているのが確認できます。



滅菌後の保管条件、滅菌品の材質及び形状により、滅菌直後は高濃度な残留のものもありますが、十分な換気能力、温度管理された滅菌倉庫で保管しています。